

2021 テーブルオフィシャルに関わるルール変更について

東京都バスケットボール協会より、2021 バスケットボール競技規則より、T0 に関わるルール変更が通知されました。2021 年度に開催される大会より更新されたルールが適用されます。以下の変更点をよく理解していただき、チームの選手、スタッフへの周知をお願いいたします。

また、「2018FIBA 新ルール変更点」から、以下に特に気を付けていただきたいルールも再掲しておりますので、改めてご確認いただき、周知をお願いいたします。

【テーブルオフィシャル変更点要約】

1. スコアシートの記入方法：ファウル/ファイティング

・ファイティングに積極的に関与したことによるヘッドコーチのディスクォリファイングファウルは、ヘッドコーチに1個のディスクォリファイングファウル「D2」のみが宣せられる。

（出典：競技規則89ページB-8-3-14）

・ファイティングに積極的に関与したことによるチーム関係者2人のディスクォリファイングファウルは、ヘッドコーチにB2と②②が記録される。なお、②はヘッドコーチ自身の失格・退場の3個のテクニカルファウルには数えない。（出典：競技規則91ページB-8-3-14）

2. 同じファウルの罰則による2本もしくは3本のフリースローの間（最初のフリースローのボールがフリースローシューターに与えられた後）にテクニカルファウルが宣せられた場合の交代

テクニカルファウルの罰則のフリースローを行うための交代は認められる。その場合、相手チームも1人を交代することができる。（出典：競技規則150・151・152ページ18/19-5、18/19-10、18/19-12）

3. ショットクロックに残り14秒以上が表示されていた時に、ショットのボールが空中にありショットとは異なる場所でファウルが宣せられた場合

ショットがバスケットに入る・入らないにかかわらず、ショットクロックは継続となる。

（出典：競技規則166ページ29/50-28、29/50-29）

4. ショットクロックの時限終わりの操作

ゲームクロック残り24秒未満で、チームがコート上でライブのボールの新たなコントロールを得た、あるいはコントロールを得た、もしくはコントロールを取り戻した場合、ショットクロックには何も表示しない。

ゲームクロック残り24秒未満および14秒を超えていて、ボールが相手チームのバスケットのリングに触れ、コート上でライブのボールのコントロールを取り戻したあと、ショットクロックは14秒となる。ゲームクロックが14秒以下の場合、ショットクロックには何も表示しない。

（出典：競技規則 171・172 ページ 29/50-55、29/50-56、29/50-57、29/50-58、29/50-59、29/50-60、29/50-61）

その他：交代・タイムアウトのブザーと、ファウル表示について

タイマーが行う記載が条文にあるが、国内大会においては引き続きスコアラーが交代・タイムアウトのブザーを鳴らし、アシスタントスコアラーがファウル表示をする。

（出典：競技規則31・33・69・70ページ18-3-2、18-3-4、19-3-3、19-3-5、19-3-7、48-2、48-3、49-1）

※上記の変更点要約は、2021 バスケットボール競技規則より、テーブルオフィシャルズに関わるところのみをまとめたものとなります。詳細は、競技規則を必ず確認してください。

○特に気を付けていただきたいルール

①第29条 24秒ルール (2018FIBA 新ルール変更点抜粋)

29-2-2 ショットクロックはボールをコントロールしていたチームが宣せられたファウルやバイオレーション(アウトオブバウンズを含む)によって、審判にゲームが止められたときいつでもリセットされる。またショットクロックはオルタネイティングポゼッションによって、新たなオフェンスのチームにスローインが与えられる場合もリセットされる。

直前にボールをコントロールしていた相手のチームに与えられるゲーム再開のスローインが：

-バックコートで行われる場合、ショットクロックは **24秒** にリセットされる。

-フロントコートで行われる場合、ショットクロックは **14秒** にリセットされる。

29-2-3 第4クォーター、各オーバータイムでゲームクロックが2:00あるいはそれ以下を表示しているときに、バックコートからボールの権利を得ることになっているチームにタイムアウトが認められた場合、そのチームのコーチはタイムアウト後に行われるスローインを、フロントコートのスコアラーズテーブルと反対側のスローインラインから行うか、バックコートから行うか決定する権利を持つ。

スローインがフロントコートのスコアラーズテーブルと反対側のスローインラインから行われる場合、ショットクロックは以下のようにリセットされる：

-ゲームクロックが止められたときにショットクロックが14秒以上であった場合、ショットクロックは14秒にリセットされる。

-ゲームクロックが止められたときにショットクロックが13秒以下であった場合、ショットクロックはリセットされず、止められたときに残っていた秒数から継続される。

※競技規則が定義するように、スローインがバックコートで行われる場合は、ショットクロックは24秒にリセットされるか、止められたときに残っていた秒数から継続される。

詳細は下記のHPを参照してください。

「2018FIBA 新ルール変更点」

http://www.japanbasketball.jp/files/referee/rule/FIBA-rule_change_20190206.pdf